



「スマートシティYAIZU」の実現に向け、データ連携基盤「SDPF for City」を活用。

導入の目的:市民サービスの向上、自治体DXの推進、データ利活用など

静岡県焼津市

人口は約13万5,000人(2025年2月28日現在)。焼津港を中心に漁業が盛んなほか、温暖・肥沃な土地で農業も盛ん。「やさしさ、愛しさ、いいもの、いっぱい世界へ広げる水産文化都市」を掲げ、市民サービスの向上や産業誘致などに邁進している。

<https://www.city.yaizu.lg.jp/>

課題

各種のデータ統合・活用によるDX推進と、市民サービスの向上をめざして。

データ連携基盤の構築を2025年から前倒しすることを決断。しかし、データの統合・連携には、庁内にとりよなデータがあるのかを把握する必要があった。

異なるデータの統合・連携が課題。null(未設定値)問題も。

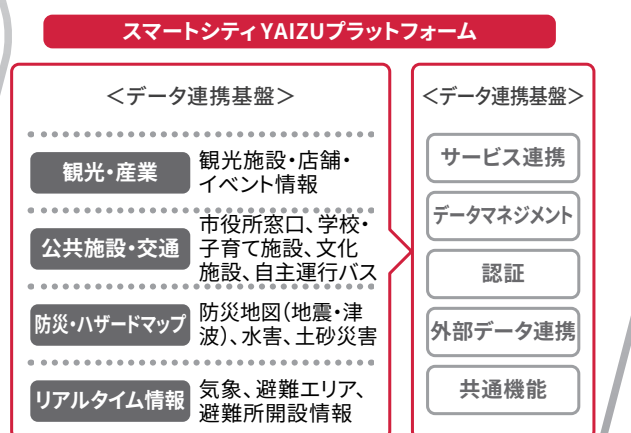


対策

データ連携基盤のベースに「SDPF for City」を採用。スマートシティ推進担当を増員。

データ連携基盤の構築に「SDPF for City」を活用。また、データ整理と調整役として人員を確保。厳しいスケジュールの中でデータ連携を実現した。

短期間で「スマートシティYAIZUプラットフォーム」を構築。



効果

閲覧頻度が高い「デジタルマップ」地図と連携した防災情報の活用も広がる。

防災や産業・観光、公共施設などのデジタルマップや分析サイトにより、分野横断的にデータを閲覧することが可能に。特に防災情報は市民の評価も高い。

活用が広がる「スマートシティYAIZUプラットフォーム」。



お問い合わせ

NTTドコモビジネスソリューションズ株式会社

〒108-8118 東京都港区芝浦3丁目4番1号 グランパークタワー
www.docomobs.com

- 記載内容は2025年3月現在のものです。
- 表記のサービス内容は予告なく変更することがありますので、お申し込み時にご確認ください。
- 記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

NTTドコモビジネスソリューションズ株式会社は全国のお客さまへ営業活動を行うNTTドコモビジネス株式会社のグループ会社です。
※2025年7月、社名変更により、ドコモビジネスソリューションズはNTTドコモビジネスソリューションズに、NTTコミュニケーションズはNTTドコモビジネスになりました。

導入事例の詳細は、こちらでご覧になれます。

